

船舶事故調査報告書

平成31年4月17日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

| | |
|-------------|---|
| 事故種類 | 転覆 |
| 発生日時 | 平成31年1月5日 07時40分ごろ |
| 発生場所 | 沖縄県国頭村赤丸岬南南西方沖 赤丸崎二等三角点から真方位208°470m付近 (概位 北緯26°44.4′ 東経128°09.0′) |
| 事故の概要 | 漁船光丸は、揚網作業中、転覆した。 |
| 事故調査の経過 | 平成31年1月8日、主管調査官（那覇事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済 |
| 事実情報 | |
| 船種船名、総トン数 | 漁船 光丸、0.4トン |
| 船舶番号、船舶所有者等 | ON3-520043（漁船登録番号）、個人所有 |
| 乗組員等に関する情報 | 船長、二級小型 |
| 負傷者 | なし |
| 損傷 | 船外機等に濡損 |
| 気象・海象 | 気象：天気 曇り、風向 南、風速 約9.1m/s、視界 良好 海象：波向 南西、波高 約2m、水温 約23℃ 日出時刻：07時17分ごろ |
| 事故の経過 | 本船は、船長が1人で乗り組み、船外機を中立運転として刺し網の揚網作業中、いつの間にか船首が振れて左舷側から波を受ける状態となっており、左舷側から波高約2mの波を受けて右舷側に傾き、甲板上に置いていた揚収済みの網が右舷側に移動し、船長が海に飛び込んだ直後、転覆した。 船長は、カップ及び救命胴衣を着用しており、赤丸岬南南西方沖の小島に泳いで上陸した。 |
| 分析 | 本船は、風速約9.1m/s及び波高約2mの状況下、刺し網の揚網作業を続けていたことから、左舷側から波を受け、船体が右舷側に傾くとともに揚収した網が移動し、海水が流入して右舷側に転覆したものと考えられる。 |
| 原因 | 本事故は、本船が、風速約9.1m/s及び波高約2mの状況下、刺し網の揚網作業を続けていたため、左舷側から波を受け、船体が右舷側に傾くとともに揚収した網が移動し、海水が流入して右舷側に転覆したものと考えられる。 |
| 再発防止策 | 今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・ 小型の船舶は、風波の影響を受けやすいので、 ^{たん} 堪航性、気象及び海象等を考慮し、操業可否、帰港時機等を慎重に判断すること。 ・ 揚網作業中、横波を受ける状態とならないよう注意を払うこと。 |